

常総市立小中学校適正配置実施計画(案)に対する意見公募(パブリックコメント)の結果

常総市立小中学校適正配置実施計画(案)に対し、ご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。
お寄せいただいたご意見と市の考え方など、意見募集の結果について公表します。

<意見募集の実施状況>

- | | | |
|-------------|------------------------------|----|
| (1) 案 件 名 | 常総市立小中学校適正配置実施計画(案) | |
| (2) 募 集 期 間 | 令和4年4月15日(金)から令和4年5月15日(日)まで | |
| (3) 提出意見数 | 7件(7名) | |
| (4) 意見提出方法 | 直接持参 | 1名 |
| | 郵送 | 0名 |
| | ファックス | 1名 |
| | 電子メール | 5名 |

寄せられたご意見とそれに対する市の考え方

令和4年4月15日から5月15日までの31日間、「常総市立小中学校適正配置実施計画（案）」に対する意見を募集しました。寄せられたご意見及びそれに対する当市の考え方は次のとおりです。なお、ご意見については、趣旨が変わらないよう原文のまま掲載させて頂いております。

番号	意見内容	市の考え方	実施計画(案)の修正について
1	<p>鬼怒中学校 1年保護者です。今年度鬼怒中学校へ入学した子どもたちは鬼怒中がいいと選んで来ました。今17人で学校がスタートして毎日楽しかったと帰って来ます。「部活楽しかったあ」「先輩楽しかったあ」「新入生歓迎会のゲーム面白かった」と鬼怒中での思い出を作り始めています。先日の授業参観でも、クラスの男女仲が良く、協力し合って授業を受けている姿をまるまる1時間、時間を気にせず見る事が出来たし、少人数だから学級懇談会や家庭教育学級も開催で出来たと思っています。他校は分かりませんが、何よりも子ども達が学校生活を楽しんでいます。そんな子ども達をみて、これから先、合併、統合より、どう鬼怒中での生活を楽しんで充実させられるのか考えて欲しいと思いました。在籍している親からしては、そこが一番です。</p> <p>もう入学しているのですから、3年間鬼怒中で過ごす事が良いと考えてます。中学校生活は、あつという間で、高校受験の事も考えなくてはならないのに、合併した先でまた環境に慣れ、新しい友達作って?なんて、そんな状態で、受験に向かえるか心配になります。ですから、鬼怒中に3年間通える様、少人数だからできる事を企画して行って欲しいと思います。郊外学習や体験学習を多く取り入れたり、外部講師を呼んでの講演会を増やしたり、人数が少ないのでコロナの心配も軽減すると思います。ですので、出来るのではないのでしょうか?また、人数が少ない事で経験出来る事が多く、そこで学べる事も多いと思います。例えば生徒会や体育祭、文化祭の実行委員長、鬼怒中の代表となり活躍出来る場面で、経験したことない子ども達も体験できたり、少ないからこそ他人任せにはならず、自然と協力して助け合いみんなで完成させ、より強い絆が出来たりするのかなぁと思いました。</p> <p>話、変わって。</p> <p>前回の説明会では、合併統合に関係なく、海中との交流授業を行っていくとの事でしたので、それがどんな形で行われるのか説明して頂けるのかなぁと思いきや、その話は、何も決まっていなくてガッカリでした。私は、令和4年度入学した子どもたちは3年間鬼怒中学校で過ごして、卒業させて欲しいと思っています。でも、後輩が出来ない経験は寂しいという気持ちがあるのも確かです。ですから、鬼怒中に在籍のまま、海中との交流が出来れば最高だと思いますし、特別な経験にもなると思うんです。</p> <p>今年度は、1年～3年と3学年揃っていますので、何とか過ごせて行けるのかなぁとは思いますが、来年度以降は入学者人数次第では、子ども達も今とはまた違った気持ちになるかもしれません。そうなって見ないと、どうなるか分かりません。それも事実です。</p> <p>もし、来年度入学する子ども達が少ないまたは、いない!となった時のためにも、海中との交流授業やイベントの開催を行って、切磋琢磨できる環境を早急に作って実施する様に、希望します。もちろん同学年の交流みではなく、縦割りでの交流なども含め、具体的な事を早急に決めて実施して欲しいと思います。長々とすみませんでした。</p> <p>私からは①鬼怒中学校をどう充実させるか、少人数ならではの良さを活かして行って欲しいこと、②合併に関わらず、海中との交流授業を具体的に進めて欲しいことこの2点をお願いします。</p>	<p>貴重なご意見をいただき誠にありがとうございます。</p> <p>今回の意見公募（パブリックコメント）は、10年から15年後の将来を見据えた、市内小中学校19校を対象とした、適正配置の実施計画に対してのご意見をいただく目的で実施させていただきました。</p> <p>いただいたご意見にあります鬼怒中学校の統合時期については、まだ決定しておりません。統合時期につきましては、保護者や地域の方をはじめとした関係者の方々と意見交換会や懇談会等を実施し、これまで頂いたご意見も十分に参考にさせていただき、決定して参りたいと存じます。</p> <p>次に、交流授業につきましては、授業等を含めた「交流事業」としてとらえ、回答をさせていただきます。まず、交流事業には、通常の学校行事におけるものと、学校の統合に向けた交流事業がございます。通常の学校行事における交流事業は、例えば中学校への入学体験として、将来同じ中学校に入学する小学校の6年生同士が共同で中学生生活を体験するなど、年間を通して日常的に実施されるものではなく、1つの行事として実施されるものが主であり、今後も、教育委員会主導ではなく、各学校間の取り組みとして進めて行く考えです。一方、学校統合に向けた交流事業は、統合の対象となった学校に対して、急激な環境変化を緩和するためのものであり、統合時期が決定し次第、早い段階で実施できるよう予算等を含めて準備を進めて参ります。</p>	<p>実施計画(案)の修正について</p> <p>実施計画(案)のとおりとします。</p>
2	<p>今年度鬼怒中に入学した保護者です。三回の説明会に参加していますが、毎回同じ話をしていると思い残念に思いました。統合するにあたって、三月の会議では、具体的にこういう案が出てますとか、こういう話がでてます。とかの話が聞けるとよかったです。</p> <p>要望としましては、鬼怒中に入学したんだから鬼怒中で卒業させていただきたいです。よろしくをお願いします。</p>	<p>貴重なご意見をいただき誠にありがとうございます。</p> <p>今回の意見公募（パブリックコメント）は、10年から15年後の将来を見据えた、市内小中学校19校を対象とした、適正配置の実施計画に対してのご意見をいただく目的で実施させていただきました。</p> <p>鬼怒中学校の統合時期については、まだ決定しておりません。今後も保護者や地域の方をはじめとした関係者の方々と意見交換会や懇談会等を実施して、これまで頂いたご意見も十分に参考にさせていただき、早急に決定して参りたいと存じます。</p>	<p>実施計画(案)のとおりとします。</p>

番号	意見内容	市の考え方	実施計画(案)の修正について
3	<p>五箇小学校4年生の母です。昨年末に転校する生徒がいたため、今年度より3学年と4学年が複式学級となりました。法律で決定されている事項のため複式学級となることは仕方のないことですが、1人の教員が2学年の指導を行うことは良い状態であるとは思えません。メリットもあるとのことですが、先生が2つの学年のクラスを行ったり来たりする、もしくは教室を半分に区切って授業を行うということは、先生方がいくら努力されても指導の時間が半分になり、学力の低下につながるのではないかと危惧しております。</p> <p>実施計画案では五箇小と大生小の合併は5年以内とされていますが、状況が変わりましたので、早急に合併を進めていただき、複式学級を解消できることを切に願っております。宜しく願い申し上げます。</p>	<p>貴重なご意見をいただき誠にありがとうございます。</p> <p>教育委員会としても、複式学級の解消は喫緊の課題と捉えており、今年の夏ごろまでにまずは一度五箇小学校の保護者の皆様との意見交換の場を設けたいと存じます。</p> <p>今回の意見公募（パブリックコメント）は、10年から15年後の将来を見据えた、市内小中学校19校を対象とした、適正配置の実施計画に対してのご意見をいただく目的で実施させていただきました。</p> <p>いただいたご意見にあります五箇小学校の統合時期については、実施計画では5年以内となっておりますが、具体的な統合時期につきましては、保護者や地域の方をはじめとした関係者の方々と意見交換会や懇談会等を実施しながら、これまで頂いたご意見も十分に参考にさせていただき決定して参りたいと存じます。</p>	<p>実施計画(案)の修正について</p> <p>実施計画(案)のとおりとします。</p>

番号	意見内容	市の考え方	実施計画(案)の修正について
4	<p>1 市教委統合案、及びその進め方についての考え 昨年度末に行われた説明会での各保護者の意見、教育長に提出した要望書に記載の通り。主な問題点としては以下の3点。 ① アンケートは対象者、設問内容（実施時期、方法等）の設定に不備があったこと。 ② 「適正配置検討委員会」において当事者の意見を聴取する機会が皆無であったこと。 ③ 説明会実施時期が、進学先中学校を最終決定する直前であったこと。 ①②③から、市教委の進め方には手続き上の過失があり、統合案は撤回すべき筋合いのものである。保護者としては到底受け入れられるものではない。</p> <p>2 「適正配置検討委員会」中間報告についての考え ① 今まで市教委は、「令和4年度鬼怒中学校入学生、鬼怒中学校での卒業を確約してほしい」という要望に対し、「適正配置検討委員会の中間答申を尊重しなければならず、その答申が出ていない以上、確約はできない」と述べてきた。 ② ところで先日発表された答申では、「特に、具体的な統合の時期については、保護者と課題を共有し、十分な協議を行いながら推進すること」また、「地域の方々と課題を共有し、理解と協力が得られるよう努めること」との文言がある。 ③ ①②を踏まえるならば、市内小中学校の統合を推進するに当たっては当該保護者、あるいは地域住民との合意形成が不可欠であると考え。仮に、合意形成がなされないにもかかわらず、「協議を行った」「努めた」ことをアリバイにして市教委案の通り統合を進めるようなことがあれば、それは保護者・地域住民を愚弄するものである。またそれは、常総市政・常総市教育行政における市民軽視を如実に物語るものとして、将来にわたって禍根を残すことになる。</p> <p>3 子どもたちの現状、及び将来についての考え ① 私たち保護者、そして市長・教育長・教育行政担当者が何よりも優先的に考えなければならないのは、当の子どもたちの幸せな中学校生活である。 ② 入学後間もないが、子どもたちは鬼怒中学校での生活が「楽しい」と言っており、少ないながらも17人ワンチームとして順調に中学校生活を開始した。 ③ 彼らなりに勉強や部活動、友人関係など3年間の展望を思い描いている。 ④ 「少ないことは不幸」という大人の一方的な思い込みや、政治的思惑、あるいは合理性・効率性優先の机上のつじつま合わせで、彼らが歩き始めた中学校生活を途中で強引に中断・方向転換するようなことがあってはならない。 ⑤ もしそのようなことが行われてしまうのであるならば、それは「大人による子どもたちへの容赦ない暴力行為」と言うべき事態であり、破廉恥極まるものである。一般論として、子どもは大人と比べて相対的に適応力が高いとは言える。しかし、それはあくまでも一般論であって、現実的には、適応力の高い子どもとそうでない子どもが存在する。環境の激変に上手く対応できない子どもが被る心身のダメージは計り知れない。強制転校をきっかけに不登校に陥る生徒がいないとも限らないし、その際には市教委の責任問題にも発展する。そのような危険性を市教委は承知しているのだろうか。承知していないのであるならば想像力の欠如と言わざるを得ないし、承知した上で統合案を進めようとしているのであるならば、確信犯的な弱者切り捨てと断じざるを得ない。</p> <p>4 改めて市長・教育長・教育行政担当者に望むこと ① 幼さは残るが、子どもたちもそれぞれ一個の生きた人間であり、そうである以上、「気持ち」というものがある。子どもたちは大人の判断に従うほかない存在だが、そうであるがゆえに、子どもたちの「気持ち」に寄り添った、子どもたちの目線に立った行政をお願いしたい。「政治は大きな声を出せない人のためにある」とは、茨城出身の政治家、故梶山静六氏の言葉である。政治の真髄であろう。令和4年度鬼怒中学校入学生、鬼怒中学校での卒業を切に願う。そのための協力は保護者として惜しまない。 ② 言わずもがなのことだが、民主主義において最も大切なことは、プロセスを重視すること、手続きを踏むことである。「スピード感のある、決められる政治」や「トップダウン」がよいのではない。また、既成事実をつくった上で（ハコモノをつくってしまった上で）、従って下さい等という手法は論外である。改めて述べるが、常総市が民主主義に基づく自治体であるならば、市教委統合案の対象となるすべての学校・学年の保護者、地域住民への丁寧な説明と合意形成を要求したい。</p>	<p>貴重なご意見をいただき誠にありがとうございます。</p> <p>今回の実施計画は、昨年度実施しました保護者アンケートをもとに作成したのではなく、教育委員会にて、児童生徒数の将来推計等のデータを調査し、児童生徒数の減少に伴う課題等を整理した中で教育委員会で適正配置（案）を作成し、これを実施計画検討委員会で検討するにあわせて、保護者の皆様にも意見公募という形でご意見をお伺いしたものです。</p> <p>常総市立小中学校適正配置実施計画検討委員会は、当該委員会設置条例の設置目的や所掌事項に基づき、常総市立小中学校全19校を対象に、10年から15年先の児童生徒の教育環境や学校運営のあり方を見据えた学校適正配置実施計画を検討する教育長の諮問機関であります。ご要望について検討委員会会長と教育委員会で協議した結果、当該委員会の目的とする市内全体の小中学校適正配置を検討する過程においては、特定の学校の特定の学年の保護者の皆様方と意見交換を行うことは、全体計画に偏りが生じてしまう懸念があることから、本要望につきましてはお答えできないとの結論に至りました。</p> <p>なお、これまでの説明会等で皆様からお寄せいただいたご意見やご要望等につきましては、経過も含め、同委員会で委員全員に共有させていただいております。</p> <p>昨年度の鬼怒中学校入学予定者の保護者様への適正配置の説明時期が、希望校決定の直前になってしまったことについては、教育委員会として配慮が足りなかったとお詫びいたします。鬼怒中学校の統合時期については、子どもたちが幸せな中学校生活をおくれるよう切に願い、なるべく早い時期に決定し情報を共有するよう努めてまいります。</p> <p>中学校の統合においては、どこかの学年が受験という大切な時期に差し掛かってしまうことは当然教育委員会としても承知しております。一方で、中学生という多感な時期は、今後社会人として成長していく過程において、社会性や協調性を育み人格を形成する大切な時期でもあります。</p> <p>また、文部科学省においても「一定規模の生徒集団と、経験年数・専門性・男女比等についてバランスのとれた教職員の集団の中で学校生活を送ることが必要である」と適正な学校規模の基準を示しているところでございます。市・教育委員会といたしましても、この考え方を基に市内小中学校の適正配置を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>なお、適正配置を進めるにあたっては、ご意見のとおり、子どもたちの学習環境の確保を柱に据えたうえで、今後も保護者や地域の方と意見交換会や懇談会を行い、これまで頂いたご意見も十分に参考にさせていただき、進めて参りたいと考えております。</p>	<p>実施計画(案)の修正について</p> <p>実施計画(案)のとおりとします。</p>

番号	意見内容	市の考え方	実施計画(案)の修正について
5	<p>鬼怒中学校に子供が3人通っている保護者です。少子高齢化、働く世代の減少等に伴い適正配置はしなければならないと思います。ただ、ここまでに至る経緯として聞いていただきたい事があります。鬼怒中学校は不当な扱いを受けていたのではないのでしょうか。もともと小さな学校だったところに中学校選択制、他の中学校が改築増築できれいになっていく中、鬼怒中学校だけが古いまま、部活がやりたい子やきれいな校舎がいい子はみんな他校に進学してしまいました。とどめに統合されてなくなるという噂。当然だと思います。最初から鬼怒中学校をなくす予定だったのかと考えてしまいます。</p> <p>鬼怒中学校は小学校が隣接しているのでとても好立地だと思います。アグリサイエンスバレー事業等で人口の増加を狙っているならば、小中一貫校として残すのも良いのではないのでしょうか。しかしお金も絡む事ですので小さな学校はなくなる方向かと思います。</p> <p>小学校統合でスクールバスを出す事になると思いますが、現在のバス業界は切実に人材不足の上、高齢化しています。かなり早め早めに話を進めない事にはバスを出せる会社も少ないかと思います。全ての子供たちに公平に進めていただきますようお願い申し上げます。</p> <p>何度も保護者説明会を開いても今年入学した鬼怒中生を3年生になったら海中に移動させる件、検討は進んでいるのでしょうか？</p> <p>保護者は全員反対です。入学を許可しているのであれば、責任をもって鬼怒中から卒業させてあげるべきと考えます。</p>	<p>貴重なご意見をいただき誠にありがとうございます。</p> <p>市及び教育委員会では、小中学校施設整備については、建築からの経過年数のほか不具合箇所や老朽化の状況等を踏まえて優先順位をつけて改修や建て替え、耐震補強工事を行っております。その中でも鬼怒中学校は、他の中学校と比べて開校が新しかったため学校施設の建築年度も、他の4中学校より後であり、順番が最後になっております。しかし、この間、不具合のある施設等の修繕や改修、さらに耐震補強工事は他の学校と同様に実施しており、生徒たちが安全で安心して学習できる施設となっております。</p> <p>小学生と中学生では、学年によっては発育や学校生活・学習の様に大きな差異があり、小学校と中学校のそれぞれに特性がありますので、市及び教育委員会としましては、現在のところ小中一貫校を設置する考えはございません。</p> <p>スクールバスについては、現在進めております大花羽小学校と菅原小学校の統合において、今年度より交流授業等を行う傍ら運行に向けた準備を進める予定です。運行ルートや必要車両台数を早期に確定し、今年度中に運行体制を確立いたします。</p> <p>今回の意見公募（パブリックコメント）の趣旨は、10年から15年後の将来を見据えた、市内小中学校19校を対象とした、適正配置の実施計画に対してのご意見をいただく目的で実施させていただきました。</p> <p>鬼怒中学校の統合時期についてはまだ決定しておりません。統合時期につきましては、今後も保護者や地域の方をはじめとした関係者の方々と意見交換会や懇談会等を実施して、これまで頂いたご意見も十分に参考にさせていただき、早急に決定して参りたいと存じます。</p>	<p>実施計画(案)の修正について</p> <p>実施計画(案)のとおりとします。</p>

番号	意見内容	市の考え方	実施計画(案)の修正について
6	<p>鬼怒中学校の廃校に関して、以下の理由からその実施年度を令和7年度とするよう求めます。</p> <p>①令和6年度に廃校すると、令和4年度入学生は受験を控えて転校することになる。17名の小集団個々の、転校先の大集団における人間関係の構築の可否は、受験の成否に関わる。</p> <p>②中学校三年次における転校は、中学校生活の集大成である修学旅行、及び部活動の引退に際して疎外感を生じさせかねず、延いては①に直結する。</p> <p>③①②を踏まえるなら、令和4年度より鬼怒中学校への新入生の受け入れを停止すべきであった。そうしなかった以上、鬼怒中学校に入学させたからには鬼怒中学校を卒業させる責務を負うのが教育行政である。</p>	<p>貴重なご意見をいただき誠にありがとうございます。</p> <p>今回の意見公募（パブリックコメント）は、10年から15年後の将来を見据えた、市内小中学校19校を対象とした、適正配置の実施計画に対してご意見をいただく目的で実施させていただきました。</p> <p>いただいたご意見にあります鬼怒中学校の統合時期については、まだ決定しておりません。統合時期につきましては、今後も保護者や地域の方をはじめとした関係者の方々と意見交換会や懇談会等を実施して、これまで頂いたご意見も十分に参考にさせていただき、早急に決定して参りたいと存じます。</p> <p>なお、鬼怒中学校は公立の義務教育学校でございますので、市としましては、統合の予定があっても、実際に統合となるまでの間は、入学希望者がいるかぎり募集停止はいたしません。</p>	<p>実施計画(案)の修正について</p> <p>実施計画(案)のとおりとします。</p>
7	<p>小学校、中学校に関しては、少人数学級による教育効果がのぞめるため出来るだけ地域の小中学校は残してほしい。</p> <p>また、地域に小中学校がない場合は、過疎化を進めていく原因ともなります。</p> <p>そのため、もし小中学校の統廃合を行う場合は、通学区域での住民投票を行った上で慎重に進めてほしいと願います。</p>	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>小中学校適正配置の取組を実施する理由として、児童生徒数減少に伴い、市内の小中学校における子どもたちが偏りのない良好な学習環境を確保するという教育的観点から実施するものであり、住民投票などにより実施の可否を判断するものではないと考えています。</p> <p>一方で、特に小学校については、地域のシンボルであり、コミュニティの中心的存在であることも事実です。そのようなことから、統合にあたっては、保護者だけでなく、地域の方々に対しても段階的に説明の機会を設けて、意見交換を行いながら適正配置の協議を進めて参りたいと考えております。</p> <p>なお、少人数学級と小規模校は別の概念であり、1学年で複数の学級がある学校においても、少人数教育は推進され、実施されています。</p> <p>これは、1学級の編制基準が35人であっても、加配教員や自治体独自の非常勤講師を配置することにより、実質的な少人数教育を行うものであり、当市においても推進しているところです。</p> <p>一方、小規模校については、一概には言えませんが、その多くは学級数が少ないことにより教育上・学校運営上、クラス替えが出来ない、教員数が限られてしまうため習熟度別指導などの多様な指導形態が取りにくいなど、さまざまな課題が生じております。今後も児童生徒数の減少が見込まれる中、市及び教育委員会では、将来にわたって一定の学校規模による良好な教育環境が確保できるよう学校の適正配置を推進してまいりたいと考えます。</p>	<p>実施計画(案)のとおりとします。</p>